

入札説明書

除雪トラック（10 t級、6×6）の交換に係る一般競争入札の公告（平成29年3月31日付け）に基づく入札については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 契約担当者

青森県知事 三村 申吾

2 一般競争入札に付する事項

次の(1)と(2)に掲げる物品の交換

(1) 青森県が交換に供する物品（以下「下取物品」という。）

ア 名称及び数量 除雪トラック 2台

イ 規格等 別紙仕様書のとおり

(2) 青森県が交換により取得する物品（以下「交換物品」という。）

ア 名称及び数量 除雪トラック（10 t級、6×6） 2台

イ 規格等 別紙仕様書のとおり

(3) 納入期限 平成30年1月19日

(4) 納入場所 青森空港管理事務所 2台

3 入札説明書の交付及び契約条項を示す場所並びに問い合わせ先

〒030-8570

青森県青森市長島一丁目1番1号

青森県県土整備部港湾空港課港政グループ

TEL 017-734-9673

FAX 017-734-8194

4 技術的事項に関する問い合わせ先

〒030-8570

青森県青森市長島一丁目1番1号

青森県県土整備部港湾空港課港湾計画・空港グループ

TEL 017-734-9674

FAX 017-734-8189

5 入札・開札の日時及び場所

(1) 日時 平成29年5月11日 10時30分

(2) 場所 青森県長島一丁目1番1号

青森県庁舎 北棟3階B会議室

6 入札及び契約手続に使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨

7 入札に参加する者に必要な資格

- (1) 地方自治法施行令第167条の4第1項及び第2項に規定する者に該当しない者であること。
- (2) 平成26年6月27日青森県告示第527号（物品等の競争入札参加資格）の一、平成27年1月30日青森県告示第58号（物品等の競争入札参加資格）の一、平成28年2月10日青森県告示第88号（物品等の競争入札参加資格）の一又は平成29年2月10日青森県告示第86号（物品等の競争入札参加資格）の一のいずれかの規定によりAの等級に格付された者であること。
- (3) 物品の製造の請負、買入れ及び借入れに係る契約並びに役務の提供を受ける契約に係る競争入札参加資格者名簿掲載業者に関する指名停止要領（平成12年1月21日付け青管第912号。以下「指名停止要領」という。）に基づく知事の指名停止の措置を、一般競争入札参加資格審査申請書の提出期限の日から開札の時までの間に、受けていない者であること。
- (4) 一般競争入札参加資格審査申請書の提出期限の日から開札の時までの間に、指名停止要領別表第9号から第16号までに掲げる措置要件に該当する事実（既に知事の指名停止の措置が行われたものを除く。）がない者であること。
- (5) 交換物品又はこれと同等の類似品について相当数の納入実績があることを証明した者であること。
- (6) 交換物品について迅速なアフターサービス及びメンテナンスの体制が整備されていることを証明した者であること。

8 入札に参加する者に必要な資格を有するかどうかの審査を申請する時期及び場所

- (1) 入札への参加を希望する者は、一般競争入札参加資格審査申請書（以下「申請書」という。（別紙様式1））2部に次に掲げる関係書類を添えて、青森県出納局会計管理課長に提出しなければならない。また、申請書の内容について説明並びに必要に応じて内容の変更等を求められた場合には、これに応じなければならない。

なお、証明書及び製作仕様書等には、各証明書又は書類ごとに、当該入札への参加を希望する者の住所及び氏名（法人の場合は、当該法人の商号又は名称及び代表者職氏名）を記名及び押印（外国人又は外国法人の場合は、当該個人又は当該法人の代表者の署名）しなければならない。

ア 物品の製造の請負、買入れに係る競争入札参加資格審査結果通知書の写し 2部

イ 納入実績証明書（別紙様式2） 2部

（ア） 交換物品と同等の類似品に関する過去5年間の納入実績（機種、規格、メーカー名、台数、年度及び納入先が明示されていること。）

（イ） 交換物品の写真又はカタログ等

ウ メーカー及び工場に関する調書（別紙様式3） 2部

組立工場及び製作工場の所在地等の状況が明示されていること。

エ サービス・メンテナンス体制証明書（別紙様式4） 2部

- (ア) 交換物品の製作場所及びメンテナンスが行える整備工場の一覧
- ・ 納入場所の最寄りの整備工場が明示されていること。
 - ・ 整備工場の名称、所在地、入札参加者との関係、当該物品の点検整備実績（過去1～3年程度）、及び修理の依頼を受けてから工場で作業に着手するまでの所要日数が明示されていること。
- (イ) 部品供給体制
- ・ 部品供給の総括窓口、供給系統及び所要日数、納入後の部品供給可能年数、依頼から供給までに必要な所要日数が明示されていること。
 - ・ 消耗部品（通常の稼働状況で1年程度の期間内の消耗又は劣化により交換が必要となる部品）は2日、一般部品（5年程度の期間内に消耗又は劣化により交換が必要な部品）は5日を超えて調達に日数が必要な部品についての全部品及び調達日数が明示されていること。
- (ウ) 技術員の派遣体制
- 緊急時の連絡系統、現地への派遣方法、連絡から現地到着までの所要時間が明示されていること。

オ 製作仕様書 2部

- (ア) 交換物品の製作仕様の詳細を説明した図書で、別添仕様書の内容が網羅されていること。
- (イ) 交換物品の基本構造等が確認できる図面及び外観図（正面図、平面図、側面図、背面図）が添付されていること。
- (ウ) メーカー名、規格及び性能等が明示されていること。

カ 工程表 2部

設計・製作（主要部品を下請け注文する場合は、その内容が明示されていること。）の工程、期間、検査場所及び納期が明示されていること。

(2) 申請書の提出時期等

入札への参加を希望する者は、申請書に係る書類を添えて、平成29年4月21日午後5時までに青森県県土整備部港湾空港課長に提出しなければならない。(1)の説明並びに内容の変更等に応じない者は、当該入札に参加することができないものとする。

(1)の審査結果については、当該提出者に対して別途書面により通知する。

(3) 申請書の提出場所

〒030-8570

青森県青森市長島一丁目1番1号

青森県県土整備部港湾空港課港政グループ

TEL 017-734-9673

FAX 017-734-8194

9 落札対象

交換物品に要求する性能等が満たされていると判断された8の(1)オ及びカの製作仕様書及び工程表に基づく入札書のみを落札対象とする。

10 入札価格等

(1) 入札価格

入札価格は、交換物品と下取物品との交換差額とする。

(2) 入札書（別紙様式5）の記載要領

ア 落札の決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の8に相当する額を加算した額（1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）をもって落札金額とするので、課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、入札者は、見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載するものとする。

イ 入札書には、入札年月日、入札価格及び入札件名（入札に係る物品の名称及び数量）を記載の上、入札者の住所及び氏名（法人の場合は、当該法人の商号又は名称及び代表者職氏名）を記名及び押印（外国人又は外国法人の場合は、当該個人又は当該法人の代表者の署名）しなければならない。

なお、代理人が入札を行う場合は、代理人の氏名（法人の場合には、当該法人の商号又は名称及び代表者職氏名）を記名及び押印しなければならない。

11 入札書の提出方法等

(1) 委任代理人が入札を行う場合は、委任状（別紙様式6）を入開札前までに青森県県土整備部港湾空港課長に提出しなければならない。ただし、有効な期間委任状を既に提出している場合は、不要とする。

(2) 郵便により入札を希望する場合は、二重封筒により配達証明付書留郵便とし、中封筒に入札書を入れて封印の上、入札件名（入札に係る物品の名称及び数量）、入開札期日及び入札者の氏名（法人の場合は、当該法人の商号又は名称及び代表者職氏名）を表記し、表封筒には「平成29年5月11日入開札、件名（入札に係る物品の名称及び数量）入札書在中」と朱書きの上、青森県県土整備部港湾空港課長あてに「親展」により平成29年5月10日午後5時までに提出しなければならない。

(3) 電話、電報、ファックスによる入札は、認めないものとする。

12 入開札の立会い等

(1) 入開札は、入札者又はその代理人を立ち合わせて行う。ただし、入札者又はその代理人が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行う。

(2) 入札者又はその代理人は、開札場に入場しようとするときは、身分証明書等を提示しなければならない。

13 入札執行回数

原則として3回を限度とする。

14 入札保証金及び契約保証金

入札保証金は免除するものとし、契約保証金は青森県財務規則（昭和39年3月青森県規則第10号）第159条の規定による。

15 落札者の決定方法

- (1) 9により落札対象と判断され、かつ、青森県財務規則第137条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で、交換差金に係る最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。
- (2) 落札者となるべき同価の入札者が2人以上あるときは、直ちに、くじで落札者を定める。この場合において、当該入札者のうちくじを引かない者があるときは、これに代えて、入札事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。

16 再度入札等

- (1) 開札した場合において落札となるべき入札者がいないときは、直ちに再度の入札を行う。ただし、この場合において郵便により入札を行った者がいるときは、入開札の日時及び場所を速やかに定め、再度の入札を行う。
- (2) 無効の入札を行った者は再度の入札に参加することはできない。
- (3) 2回目の入札に付し落札者がなく、かつ1者を除いて他の入札者がすべて辞退した場合は、以後の再度入札は行わず、その1者との随意契約により契約を締結する。

17 入札の無効

- (1) 入札の参加資格のない者がした入札
- (2) 同一の入札について二以上の入札をした者の入札
- (3) 公正な価格の成立を害し、又は不正の利益を得るためにした連合その他不正の行為によって行われたと認められる入札
- (4) 入札書の金額、氏名、印影若しくは重要な文字の誤脱又は識別しがたい入札又は金額を訂正した入札
- (5) その他入札条件に違反した入札

18 入札結果の通知

入札結果の通知は、青森県財務規則第150条の10の規定により行う。

19 契約の締結

- (1) 落札決定の日から7日以内に契約を締結する。
- (2) 落札の決定後、当該入札に係る契約の締結までの間において、当該落札者が7に掲げるいずれかの要件を満たさなくなった場合には、当該契約を締結しない。
- (3) 契約書(案) 別紙のとおり

20 検査

検査は、青森県財務規則第163条に規定するもののほか、契約書及び仕様書に定めるところにより行うものとする。

21 契約代金の支払方法

契約代金は、上記20の検査に合格した後において、当該契約者の請求により支払うものとする。

22 その他

この競争入札を行う場合において了知し、かつ、遵守すべき事項は、青森県財務規則の別記第一の「入札者心得書」（ただし、第4条第8項及び第6条(B)を除く。）記載のとおりとする。

23 一連の調達契約に関する事項

(1) 今後調達が予定される物品等の名称、数量

ア プラウ付トラクタ（除雪幅6.2m）交換 1台

イ 被けん引スノーパー除雪車（掃雪幅5.5m）交換 1台

(2) 上記に係る入札の公告の予定時期 平成29年8月頃

(別紙様式1)

平成 年 月 日

青森県知事 殿

入札参加者
所在地又は住所

商号又は名称

代表者職氏名 ⑩

担当者氏名 ⑩

連絡先

電話番号

ファックス番号

一般競争入札参加資格審査申請書

一般競争入札への参加を希望しますので、その資格の審査について、関係資料を添えて、下記のとおり申請します。なお、この申請書及び添付資料の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 入札件名 除雪トラック（10t級、6×6）の交換に係る一般競争入札
- 2 申請書の提出期限 平成29年4月21日
- 3 提出書類の名称及び提出部数
 - (1) 物品の製造の請負及び買入れに係る競争入札参加資格審査結果通知書の写し 2部
 - (2) 納入実績証明書 2部
 - (3) メーカー及び工場に関する調書 2部
 - (4) サービス・メンテナンス体制証明書 2部
 - (5) 製作仕様書 2部
 - (6) 工程表 2部

(別紙様式2)

納入実績証明書

平成 年 月 日

青森県知事 殿

所在地又は住所

商号又は名称

代表者職氏名

印

物品の調達に係る一般競争入札（平成29年3月31日付け公告）に係る当該調達物品の納入実績は、下記のとおりであることを証明します。

記

1 入札件名 除雪トラック（10t級、6×6）の交換に係る一般競争入札

2 入開札日時 平成29年5月11日 10時30分

3 過去5年間の納入実績（同等な類似品を含む。）

メーカー名	機種	規格	納入年度	納入先	納入台数	備考

4 添付書類

契約書（写）その他

(別紙様式3)

メーカー及び工場に関する調書

平成 年 月 日

青森県知事 殿

所在地又は住所

商号又は名称

代表者職氏名

印

物品の調達に係る一般競争入札（平成29年3月31日付け公告）に係る当該調達物品のメーカー及び工場の状況は、下記のとおりです。

記

- 1 入札件名 除雪トラック（10t級、6×6）の交換に係る一般競争入札
- 2 入札日時 平成29年5月11日 10時30分
- 3 メーカー及び工場の状況

メーカー	商号又は名称	
	住所又は所在地	
	代表者氏名	
	電話番号	
	担当者氏名	
	総従業員数	
	昨年度総売上額	
最寄りの営業所等	名 称	
	住所又は所在地	
	担当者氏名	
	電話番号	
工場	名 称	
	住所又は所在地	
	責任者氏名	
	電話番号	
過去5年間の実績	延べ製作台数	(当該物品及び同等物品)

(別紙様式4)

サービス・メンテナンス体制証明書

平成 年 月 日

青森県知事 殿

所在地又は住所
商号又は名称
代表者職氏名

印

物品の調達に係る一般競争入札（平成29年3月31日付け公告）に係る当該調達物品の
アフターサービス及びメンテナンス体制は、下記のとおりであることを証明します。

記

- 1 入札件名 除雪トラック（10t級、6×6）の交換に係る一般競争入札
- 2 入札日時 平成29年5月11日 10時30分
- 3 点検整備又は修理の体制

最寄りのサービス工場の名称	
住所又は所在地	
責任者氏名	
担当者氏名	
電話番号及びファクス番号	
入札者との関係	
点検整備等の実績(過去3年間)	
派遣に要する日数	
派遣方法	

- 4 部品供給の体制

総括窓口の名称	
住所又は所在地	
責任者氏名	
担当者氏名	
電話番号及びファクス番号	
部品の供給に要する日数	
部品の供給可能年数	

- (注) 1 「部品の供給に要する日数」は、当該部品の供給につき、それぞれ消耗部品に
あつては2日を、一般部品にあつては5日を越えるものについては、それらのす
べての部品について、その供給に要する日数を別葉により記載する。
2 「部品の供給可能年数」は、すべての部品について、別葉により記載する。

- 5 技術員の派遣体制

当該派遣依頼に係る修理等の内容に応じた通常時及び緊急時における技術員の派遣に係
る連絡受付先及び連絡系統、派遣方法並びに所要時間等を連絡系統図として別葉により記
載する。

(別紙様式5)

平成 年 月 日

青森県知事 殿

所在地又は住所

商号又は名称

代表者職氏名

委任代理人

印

印

入 札 書

¥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	円
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

入札件名 除雪トラック（10 t級、6×6）の交換に係る一般競争入札

(内 訳)

番号	入 札 品 名	規 格	数 量	単 価	金 額
	(交換物品) 除雪トラック（10 t 級、6×6）	仕様書のとおり	2台	○○○	○○○
	(下取物品) 除雪トラック	仕様書のとおり	2台		△ ○○○
	合 計				○○○

備考 落札額は、この入札書に記載した金額に当該金額の100分の8に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）である。

(別紙様式6)

委 任 状

平成 年 月 日

青 森 県 知 事 殿

所在地又は住所

商号又は名称

代表者職氏名

印

私は、次の者を委任代理人と定め、下記件名の入札及び見積りに関する一切の権限を委任します。

受任者 所在地又は住所

商号又は名称

職 氏 名

代理人使用印鑑

記

入札（見積り）件名 除雪トラック（10 t 級、6×6）の交換に係る一般競争入札

入札（見積り）期日 平成29年5月11日

入札（見積り）・開札場所 青森県庁舎北棟3階B会議室

物 品 交 換 契 約 書

住所

受注者

青森市長島一丁目1番1号

発注者 青 森 県

上記当事者間において、物品の交換のため、次のとおり（ただし、
契約を締結した。 を除く。）

（交換物品の内容）

第1条 発注者と受注者は、それぞれの所有する次に掲げる物品（以下「交換物品」という。）を交換することを約した。

(1) 発注者が交換に供する物品の名称、型式、規格、数量、金額等は、次のとおりとする。

ア 名 称 除雪トラック
イ 型 式 別紙仕様書のとおり
ウ 規 格 別紙仕様書のとおり
エ 数 量 2台
オ 金 額 ￥. 下取金額：

（うち消費税及び地方消費税の額 ￥. ）

カ その他 登録は、引渡し後、受注者が速やかに抹消するものとする。

(2) 受注者が交換に供する物品の名称、型式、規格、数量、金額、付属品等は、次のとおりとする。

ア 名 称 除雪トラック（10t級、6×6）
イ 型 式 別紙仕様書のとおり
ウ 規 格 別紙仕様書のとおり
エ 数 量 2台
オ 金 額 ￥. 取得金額：

（うち消費税及び地方消費税の額 ￥. ）

カ 付属品等 別紙仕様書のとおり

2 発注者は、交換差金として、金交換差金： 円を受注者に支払うものとする。

（契約保証金）

第2条(A) 契約保証金は、金 円とする。

2 前項の契約保証金には、利息を付さないものとする。

3 第1項の契約保証金は、受注者が契約を履行した後、受注者に還付するものとする。

第2条(B) 契約保証金は、免除する。

（交換物品の納入期限等）

第3条 交換物品の納入期限及び納入場所は、それぞれ次のとおりとする。

(1) 納入期限 平成30年1月19日（金）

(2) 納入場所 青森空港管理事務所 2台

2 受注者は、交換物品を納入しようとするときは、あらかじめその旨を発注者に通知するとともに、納入の際は、物品納入管理票を提出するものとする。

3 受注者は、第1項の納入期限までに交換物品を納入できないときは、遅滞なくその旨を発注者に通知しなければならない。

(交換物品の検査等)

第4条 発注者は、交換物品の納入があった場合において、受注者の立会いの下に検査を行うものとし、検査の結果、合格と認めるときは、直ちに交換物品の引渡しを受けるものとする。

2 前項の検査に要する費用及び検査のために交換物品が変質又は消耗き損したことによる損害は、すべて受注者の負担とする。ただし、特殊の検査に要する費用は、この限りでない。

3 受注者は、自らの都合により検査に立ち会わないときは、検査の結果について異議を申し立てることができないものとする。

4 第1項の検査に合格しなかったときは、受注者は、交換物品を遅滞なく引き取り、発注者の指定する期日までに代品を納入しなければならない。

5 前条第2項及び第3項並びに前4項の規定は、代品の納入について準用する。

(所有権の移転時期)

第5条 交換物品の所有権は、前条第1項の検査に合格し、引渡しを完了した時、それぞれ相手方に移転するものとする。

(交換差金の支払)

第6条 受注者は、受注者の交換物品の引渡しを完了した後、請求書により発注者に交換差金を請求するものとする。

2 発注者は、前項の請求書を受領した日から起算して30日以内に交換差金を支払うものとする。

(遅延利息)

第7条 受注者は、その責めに帰する理由により第3条第1項の納入期限までに交換物品を納入しなかった場合は、当該納入期限の翌日から納入した日までの日数に応じ、交換差金の額につき年2.8パーセントの割合で計算して得た金額を遅延利息として発注者に納付するものとする。この場合において、遅延利息の額が100円未満であるとき、又はその額に100円未満の端数があるときは、その全額又は端数を切り捨てるものとする。

2 発注者は、前項の遅延利息を、交換差金より控除するものとする。

(かし担保責任)

第8条 発注者は、交換物品の所有権が移転した後、交換物品に隠れたかしがあることを発見したときは、当該所有権の移転後1年以内に受注者に対して交換物品の補修、取替え、この契約の解除又はこれらに代え、若しくはこれらとともに損害の賠償を請求することができる。

2 発注者は、受注者が前項の補修又は取替えに応じないときは、補修又は取替えに代わる必要な措置を講ずることができるものとし、これに要する費用は受注者が負担するものとする。

(契約の解除)

第9条 発注者は、前条の規定による場合のほか、受注者が次の各号のいずれかに該当する場合は、この契約を解除することができる。

(1) その責めに帰する理由により、第3条第1項の納入期限までに交換物品を引渡ししなかったとき、又は引渡しする見込みがないと明らかに認められるとき。

(2) その他この契約に違反し、その違反によってこの契約の目的を達することができないと認

められるとき。

(契約保証金の帰属)

第 10 条(A) 発注者が、前条の規定によりこの契約を解除した場合は、第 2 条の契約保証金は、発注者に帰属するものとする。

(違約金)

第 10 条(B) 発注者は、前条の規定によりこの契約を解除した場合は、交換差金の額の 100 分の 5 に相当する金額を違約金として受注者から徴収するものとする。この場合において、違約金の額が 100 円未満であるとき、又はその額に 100 円未満の端数があるときは、その全額又は端数を切り捨てるものとする。

(損害賠償)

第 11 条 発注者は、第 9 条の規定によりこの契約を解除した場合において、前条の違約金又は契約保証金（契約保証金の納付に代えて提供された担保については、当該担保の価値）若しくは履行保証保険の保険金の額を超えた金額の損害が生じたときは、その超えた金額を損害賠償として受注者から徴収する。

(協議事項)

第 12 条 この契約書に定めのない事項及び疑義の生じた事項については、発注者と受注者とが協議して定めるものとする。

上記契約の成立を証するため、この契約書を 2 通作成し、発注者及び受注者が記名押印し、各自その 1 通を保有するものとする。

平成 年 月 日

受注者

印

発注者 青森県知事 三 村 申 吾

印

暴力団排除に係る特記事項

(総則)

第1 受注者は、青森県暴力団排除条例(平成23年3月青森県条例第9号)の基本理念に則り、この特記事項が添付される契約(以下「本契約」という。)及びこの特記事項を守らなければならない。

(暴力団排除に係る契約の解除)

第2 発注者は、受注者(第1号から第5号までに掲げる場合にあつては、受注者又はその支配人(受注者が法人の場合にあつては、受注者又はその役員若しくはその支店若しくは契約を締結する事務所の代表者))が次の各号のいずれかに該当するときは、本契約を解除することができる。

- (1) 暴力団員(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員をいう。第5号及び第6号において同じ。)であると認められるとき。
- (2) 自己若しくは第三者の不正な利益を図り又は第三者に損害を与える目的で暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下この項において同じ。)の威力を利用したと認められるとき。
- (3) 暴力団の威力を利用する目的で金品その他財産上の利益の供与(以下この号及び次号において「金品等の供与」という。)をし、又は暴力団の活動若しくは運営を支援する目的で相当の対価を得ない金品等の供与をしたと認められるとき。
- (4) 正当な理由がある場合を除き、暴力団の活動を助長し、又は暴力団の運営に資することとなることを知りながら金品等の供与をしたと認められるとき。
- (5) 暴力団員と交際していると認められるとき。
- (6) 暴力団又は暴力団員が実質的に経営に関与していると認められるとき。
- (7) その者又はその支配人(その者が法人の場合にあつては、その者又はその役員若しくはその支店若しくは契約を締結する事務所の代表者)が第1号から前号までのいずれかに該当することを知りながら当該者との契約に係る下請契約、材料等の購入契約その他の契約を締結したと認められるとき。
- (8) 第1号から第6号までのいずれかに該当する者を契約の相手方とするこの契約に係る下請契約、材料等の購入契約その他の契約(前号に該当する場合の当該契約を除く。)について、発注者が求めた当該契約の解除に従わなかったとき。

2 前項の規定により契約を解除した場合の契約保証金の帰属、違約金及び損害賠償については、本契約の規定による。

(不当介入に係る報告・通報)

第3 受注者は、受注者及び下請負者等に対して暴力団員等による不当介入があった場合は、発注者及び警察へ報告・通報しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。

参考（契約書として調製するときは、この部分は削除する。）

【契約保証金等に係る削除条項例】

- 1 契約金額 150 万円以下の随意契約による免除（財務規則第 159 条第 1 項第 6 号該当）
第 2 条(A)、第 10 条(A)
- 2 履行保証保険契約締結による免除（財務規則第 159 条第 1 項第 1 号該当）
第 2 条(A)、第 10 条(A)
- 3 実績免除（財務規則第 159 条第 1 項第 2 号該当）
第 2 条(A)、第 10 条(A)
- 4 現金（又は納付証券）による納付（財務規則第 159 条第 1 項本文該当）
第 2 条(B)、第 10 条(B)

仕 様 書

1. 下取り車両の名称、規格等

(1)

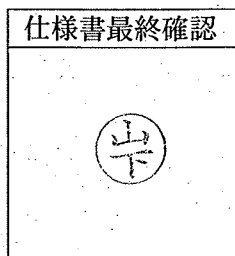
車種	除雪トラック
車名	いすゞ
登録番号	—
(管理番号)	(T-2)
型式・年代	KC-CTW81P2
車体番号	3000067
排気量・気筒	19.00 ℓ
乗車定員	2人
取得年月日	平成 11年 12月 2日 (契約書引渡期限)
登録年月日	平成 11年 12月 2日 (備品カード受入日)
車検有効期限	—
走行距離数等	102, 131km
車両の所属	青森空港管理事務所

(2)

車種	除雪トラック
車名	いすゞ
登録番号	—
(管理番号)	(T-5)
型式・年代	KL-CYW81P3
車体番号	3000056
排気量・気筒	19.00 ℓ
乗車定員	2人
取得年月日	平成14年11月20日(契約書引渡期限)
登録年月日	平成14年11月20日(備品カード受入日)
車検有効期限	—
走行距離数等	89, 990km
車両の所属	青森空港管理事務所

2. 取得車両の名称、規格等

別紙、除雪トラック(10t級 6×6 ワンウェイプラウ)仕様書NO. 1及びNO. 2のとおり。



除雪トラック

(10 t級 6×6 ワンウェイプラウ)

仕 様 書

平成29年 3月

青 森 県

除雪トラック〔10t級 6×6 ワンウェイプラウ〕仕様書

概要

この仕様書は除雪トラック〔10t級 6×6 ワンウェイプラウ〕に適用するもので、納入機は下記に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、青森空港除雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性と、良好な操縦性能を有するものとする。

納入機は運輸省令昭和26年第67号（以降の改正分を含む）「道路運送車両の保安基準」に適合するものでなければならない。（適合しない部分がある場合、発注者の許可を得るものとする）

ここに明記されていない箇所については発注者（以下「甲」という）と受注者（以下「乙」という）とが協議のうえ決定するものとする。

1. 性能

- | | | |
|--|------------|-----------|
| (1) 除雪幅 | 新雪15cmにおいて | 3,500mm以上 |
| (2) 除雪作業速度 | 新雪15cmにおいて | 35km以上 |
| (3) 最小回転半径 | 最外側車輪中心 | 12m以下 |
| (4) 騒音レベル（オペレータ耳もと、無負荷、車輛停止
機関最高回転速度の80%、運転室扉窓密閉にて） | | 85dB(A)以下 |

2. 主要諸元

- | | |
|------------------|------------|
| (1) 全長 | 14,000mm以下 |
| (2) 全幅 | 3,800mm以下 |
| (3) 全高（黄色燈火上端まで） | 3,800mm以下 |
| (4) 最低地上高 | 240mm以上 |
| (5) 車両総質量 | 22,000kg以下 |
| (6) 乗車定員 | 2人以上 |

3. 車体

- | | |
|----------------------|---------------------------------------|
| (1) 機関形式 | 水冷、ディーゼル機関 |
| 最大出力 | 360PS以上 |
| 最大トルク | 130kg・m以上 |
| (2) 駆動方式 | 総輪駆動式 |
| (3) 動力伝達装置 | |
| 主変速機（マニュアルトランスミッション） | 前進5段、後進1段以上 |
| 減速機 | 前軸 まがりばかさ歯車 後1軸目 遊星歯車
後2軸目 ハイポイド歯車 |
| (4) タイヤ車輪配列 | 前2駆動・後複2駆動一複2駆動 |

形 式	スタッドレスタイヤ
(5) 懸架装置	前後軸に懸架装置を有すること
前車軸	大型化するプラウ部に対応するため 8 t 軸以上とする
(6) 制 動 装 置	
主ブレーキ停止距離 (60km/h 走行時)	3.3 m以下
駐車ブレーキ	
補助ブレーキ	
(7) かじ取り装置	前輪操舵式
(8) 車 体	
構 造	全鋼製密閉形
室内寸法	定員乗車時(2名)に十分な空間を有すること
窓	(前) 熱線入り合わせガラス (後) 熱線入り強化ガラス (側) 合わせガラス又は強化ガラス
サイドミラー	熱線入りタイプ
ルームミラー	
アンダーミラー	

4. 作 業 装 置 (フロントプラウ)

(1) 形 式	油圧式ワンウェイプラウ形 (着脱自在ゴム製デフレクタ付)
(2) 構 造	ストレート形平形刃先、鋼板円錐曲面構造
(3) 能 力	
切刃昇降範囲	地下30 mm～地上250 mm以上
プラウ取付状態	推進角50～60度、切削角40～50度
そり	車輪式、個数2個、プラウ地上高250 mm以上
カッティングエッジ	天然ゴム系 (t50×w240: 旭川空港仕様)

5. カウンターウェイト

(1) 形 式	カウンターウェイト付ボディ
(2) 構 造	コンクリート製 4,000 kg 程度

6. 計器類

(1) 運行記録計 (120 km/h 速度計 7 日及び 26 時間兼用型)	1 式
(2) その他標準機器類	1 式

7. 照明装置類 (保安基準により装備を義務づけられるものの外)

(1) 前部霧灯 (白色)	2 組
(2) 黄色燈火 (散光式 エアロニックタイプ AJS-24HD-YY)	1 式

- | | |
|----------------|-----|
| (3) 最外側灯 (3W) | 1 式 |
| (4) その他標準照明装置類 | 1 式 |

8. 付属装置及び付属品

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| (1) ワイパー：前後面電動式 (スノーブレード付) | 1 式 |
| (2) バックブザー (後方 1m において、音圧 80dB(A) 以上) | 1 式 |
| (3) カーヒーター (温水式デフロスタ付) | 1 式 |
| (4) 無線機用電源 | 1 組 |
| (5) 旗棒 (プラウ左右両端取付) | 1 式 |
| (6) 点検用コンセント | 1 組 |
| (7) スペアタイヤ及び取付台 | 各種類毎に 1 組 |
| (8) 非常用信号具 (発煙灯 1、赤旗 1) | 1 式 |
| (9) 冬用床マット | 1 式 |
| (10) 消火器 (ABC 粉末、1.8kg) | 1 式 |
| (11) 標準付属工具 (軽微な点検、タイヤ交換に必要な工具) | 1 式 |
| (12) その他標準付属品 | 1 式 |
| (13) 取扱説明書 | 3 部 |
| (14) 部品表 | 3 部 |
| (15) 管理簿 | 1 部 |

9. 無線機 (出力 5W 設定、架台・アンテナ共) 1 式

無線機等は、新品とし青森空港管理事務所が使用する周波数 AM154.210MHz で送受信ができること。

(無線器は、スタンダード社 GX5560VFT 同等品以上、また、アンテナは周波数の調整を行うこと。)

10. 塗装

納入機は、国土交通省建設機械塗装基準によるが、青森空港の管理番号等を標示すること。標示番号、位置及び大きさは発注者と協議すること。

11. 検査

乙は十分な、ならし運転完了後検査を受けるものとする。完成検査は、寸法、外観、溶接、その他組立状況を検査し、さらに適当な作業を行って全般的な機能及び各装置の検査をする。

なお、上記検査以外に中間検査を行い、試験記録等を提出させることがある。

12. 保証

納入後 1 箇年以内に設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には乙は無償修理を行わなければならない。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、甲と乙が協議のうえ、乙に無償修理を行わせることがある。(構造上の欠陥、組立時の施工不良であった場合等)

1 3. その他の事項

1 3 - 1 製造期日等の指定

納入機は新品でなければならない。

1 3 - 2 燈火の取付方法の指定

黄色燈火（以下「燈火等」という）の取付方法は、次のとおりとする。

イ) 燈火等の規格、取付位置については、「道路維持作業用自動車及び道路管理用緊急自動車の取扱について（昭和 55 年 6 月 5 日付け、建設省機発第 473 号（以降の改正分含む）」）に準じるものとする。

ロ) 燈火等は、運転室又は作業装置上部に堅固に取付け、燈火等の重量、振動に耐えるよう取付部分に必要な補強を行うものとする。

1 3 - 3 提出図書の言語の指定

取扱説明書など提出を義務づけられた図書に使用する言語は、日本語とする。

仕様書最終確認



除雪トラック

(10 t級 6×6 ワンウェイプラウ)

仕 様 書

平成29年 3月

青 森 県

除雪トラック〔10t級 6×6 ワンウェイプラウ〕仕様書

概要

この仕様書は除雪トラック〔10t級 6×6 ワンウェイプラウ〕に適用するもので、納入機は下記に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、青森空港除雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性と、良好な操縦性能を有するものとする。

納入機は運輸省令昭和26年第67号（以降の改正分を含む）「道路運送車両の保安基準」に適合するものでなければならない。（適合しない部分がある場合、発注者の許可を得るものとする）

ここに明記されていない箇所については発注者（以下「甲」という）と受注者（以下「乙」という）とが協議のうえ決定するものとする。

1. 性能

- | | | |
|--|------------|-----------|
| (1) 除雪幅 | 新雪15cmにおいて | 3,500mm以上 |
| (2) 除雪作業速度 | 新雪15cmにおいて | 35km以上 |
| (3) 最小回転半径 | 最外側車輪中心 | 12m以下 |
| (4) 騒音レベル（オペレータ耳もと、無負荷、車輛停止
機関最高回転速度の80%、運転室扉窓密閉にて） | | 85dB(A)以下 |

2. 主要諸元

- | | |
|------------------|------------|
| (1) 全長 | 14,000mm以下 |
| (2) 全幅 | 3,800mm以下 |
| (3) 全高（黄色燈火上端まで） | 3,800mm以下 |
| (4) 最低地上高 | 240mm以上 |
| (5) 車両総質量 | 22,000kg以下 |
| (6) 乗車定員 | 2人以上 |

3. 車体

- | | |
|----------------------|---------------------------------------|
| (1) 機関形式 | 水冷、ディーゼル機関 |
| 最大出力 | 360PS以上 |
| 最大トルク | 130kg・m以上 |
| (2) 駆動方式 | 総輪駆動式 |
| (3) 動力伝達装置 | |
| 主変速機（マニュアルトランスミッション） | 前進5段、後進1段以上 |
| 減速機 | 前軸 まがりばかさ歯車 後1軸目 遊星歯車
後2軸目 ハイポイド歯車 |
| (4) タイヤ車輪配列 | 前2駆動・後複2駆動一複2駆動 |

形 式	スタッドレスタイヤ
(5) 懸架装置	前後軸に懸架装置を有すること
前車軸	大型化するプラウ部に対応するため 8 t 軸以上とする
(6) 制 動 装 置	
主ブレーキ停止距離 (60km/h 走行時)	3.3 m以下
駐車ブレーキ	
補助ブレーキ	
(7) かじ取り装置	前輪操舵式
(8) 車 体	
構 造	全鋼製密閉形
室内寸法	定員乗車時(2名)に十分な空間を有すること
窓	(前) 熱線入り合わせガラス (後) 熱線入り強化ガラス (側) 合わせガラス又は強化ガラス
サイドミラー	熱線入りタイプ
ルームミラー	
アンダーミラー	

4. 作 業 装 置 (フロントプラウ)

(1) 形 式	油圧式ワンウェイプラウ形 (着脱自在ゴム製デフレクタ付)
(2) 構 造	ストレート形平形刃先、鋼板円錐曲面構造
(3) 能 力	
切刃昇降範囲	地下30 mm～地上250 mm以上
プラウ取付状態	推進角50～60度、切削角40～50度
そり	車輪式、個数2個、プラウ地上高250 mm以上
カッティングエッジ	天然ゴム系 (t50×w240: 旭川空港仕様)

5. カウンターウェイト

(1) 形 式	カウンターウェイト付ボディ
(2) 構 造	コンクリート製 4,000 kg 程度

6. 計器類

(1) 運行記録計 (120 km/h 速度計 7 日及び 26 時間兼用型)	1 式
(2) その他標準機器類	1 式

7. 照明装置類 (保安基準により装備を義務づけられるものの外)

(1) 前部霧灯 (白色)	2 組
(2) 黄色燈火 (散光式 エアロニックタイプ AJS-24HD-YY)	1 式

- | | |
|----------------|-----|
| (3) 最外側灯 (3W) | 1 式 |
| (4) その他標準照明装置類 | 1 式 |

8. 付属装置及び付属品

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| (1) ワイパー：前後面電動式 (スノーブレード付) | 1 式 |
| (2) バックブザー (後方 1m において、音圧 80dB(A) 以上) | 1 式 |
| (3) カーヒーター (温水式デフロスタ付) | 1 式 |
| (4) 無線機用電源 | 1 組 |
| (5) 旗棒 (プラウ左右両端取付) | 1 式 |
| (6) 点検用コンセント | 1 組 |
| (7) スペアタイヤ及び取付台 | 各種類毎に 1 組 |
| (8) 非常用信号具 (発煙灯 1、赤旗 1) | 1 式 |
| (9) 冬用床マット | 1 式 |
| (10) 消火器 (ABC 粉末、1.8kg) | 1 式 |
| (11) 標準付属工具 (軽微な点検、タイヤ交換に必要な工具) | 1 式 |
| (12) その他標準付属品 | 1 式 |
| (13) 取扱説明書 | 3 部 |
| (14) 部品表 | 3 部 |
| (15) 管理簿 | 1 部 |

9. 無線機 (出力 5W 設定、架台・アンテナ共) 1 式

無線機等は、新品とし青森空港管理事務所が使用する周波数 AM154.210MHz で送受信ができること。

(無線器は、スタンダード社 GX5560VFT 同等品以上、また、アンテナは周波数の調整を行うこと。)

10. 塗装

納入機は、国土交通省建設機械塗装基準によるが、青森空港の管理番号等を標示すること。標示番号、位置及び大きさは発注者と協議すること。

11. 検査

乙は十分な、ならし運転完了後検査を受けるものとする。完成検査は、寸法、外観、溶接、その他組立状況を検査し、さらに適当な作業を行って全般的な機能及び各装置の検査をする。

なお、上記検査以外に中間検査を行い、試験記録等を提出させることがある。

12. 保証

納入後 1 箇年以内に設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には乙は無償修理を行わなければならない。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、甲と乙が協議のうえ、乙に無償修理を行わせることがある。(構造上の欠陥、組立時の施工不良であった場合等)

1 3. その他の事項

1 3 - 1 製造期日等の指定

納入機は新品でなければならない。

1 3 - 2 燈火の取付方法の指定

黄色燈火（以下「燈火等」という）の取付方法は、次のとおりとする。

イ) 燈火等の規格、取付位置については、「道路維持作業用自動車及び道路管理用緊急自動車の取扱について（昭和 55 年 6 月 5 日付け、建設省機発第 473 号（以降の改正分含む）」）に準じるものとする。

ロ) 燈火等は、運転室又は作業装置上部に堅固に取付け、燈火等の重量、振動に耐えるよう取付部分に必要な補強を行うものとする。

1 3 - 3 提出図書の言語の指定

取扱説明書など提出を義務づけられた図書に使用する言語は、日本語とする。